

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北久里浜たくちクリニック新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県横須賀市根岸町3丁目16-1,25	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院,工場	評価の段階	
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年2月1日
敷地面積	3,699㎡	作成者	清水建設㈱一級建築士事務所
建築面積	1,465㎡	確認日	2019年2月2日
延床面積	3,972㎡	確認者	清水建設㈱一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
高齢化により車いす送迎の増加に伴い駐車スペースを可能な限り確保するなど利用者が通院しやすく配慮した計画。 また、院内託児所を設置することにより働きやすい環境づくりに取り組む。		
Q1 室内環境 透析時患者の体に風が当たりにくように空調の吹き出しに配慮、 壁・天井には無機質クロスを使用し、住宅のようなやわらかい雰囲気づくりに取り組んだ計画。	Q2 サービス性能 災害時にも対応できるBCP計画とし、設備配管については耐用年数の長い材料を選定するなど建物機能の耐用性向上を図る。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の景観やまちなみへ悪影響とならない計画となるよう、周辺との調和を意識する。
LR1 エネルギー 全面的なLED照明の採用を実施する事で一次エネルギー消費量を抑えた省エネルギー設計とする。	LR2 資源・マテリアル 節水器具採用を採用することで水資源確保に取り組んだ。	LR3 敷地外環境 周辺での交通渋滞抑制に対して前向きに配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される